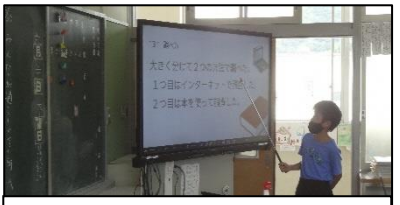


1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	浅口市立鴨方東小学校	実践者名	佐藤 宏紀
教科等	国語科	学年	第5学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	目的に応じて資料（写真・図・表）を使い、聞き手に自分の考えを伝える力。		
単元・内容等	みんなが過ごしやすい町へ		
児童生徒の実態 (端末活用頻度 等)	基本毎日活用している。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
【単元の流れ】			
(1) 課題を把握し、学習の見通しをもつ。 ・教師のプレゼンテーションを見せ、自分たちの地域に住人が過ごしやすくなる工夫があることを知らせる。 ・点字ブロックや音声付信号、手すりのあるトイレなど、自分たちの地域にも工夫があることに気付かせる。 ・自分たちの地域には、誰のためのどのような工夫があるのかを問いかけ、自分が紹介したい工夫を考えるとともに、伝える方法も考える。			
			
		(資料1) スライドにまとめる児童の様子	
(2) 伝えたい内容について調べ、まとめる。 ・調べ方については、インターネットや本、実際に見ることや、詳しい人にインタビューをする等から、児童自身で調べる方法を選択する。 ・調べたことを、ノートにメモをする。その際、情報の出典も明記し、どこの情報なのかも意識させる。 ・調べた内容を、まとめる（資料1）。その際、まずは構成を確認させる。			
			
		(資料2) 班で報告をしている様子	
(3) まとめたものを、友達に伝え、振り返りをする。 ・調べた内容を、班で報告する（資料2）。その後、報告者に質問をする時間も設ける。			
			
		(資料3) 全体で報告をしている様子	
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
今回は、報告書をポスターに書くのではなく、スライドで作成した。スライドを使うことで、聞き手の興味を引きつけるとともに、資料を使うことで相手に自分の意見を伝えやすかったことに気付かせることもできた。ねらいとしていた「資料を用いて相手に伝えること」を身に付けるには効果的であった。		(児童の感想) 「スライドを使うことで、自分たちの意見に効果的な写真が簡単に使えた。」 「まとめるときには、短く簡潔にまとめることが大切だと感じた。」 「図や表、写真を効果的に使うことで、自分たちの伝えたい内容がより伝わるということが分かった。」	